

# 飛翔 人権通信



人権教育・啓発通信：「飛翔」  
発行：那賀川中学校  
(No.2) 2026 (令和8) 年5月28日 (木)  
文責：人権教育主事 中岡 和也

学校がスタートして1か月以上が経ちますが、仲間との生活や授業には慣れてきたでしょうか？  
2年生は、いよいよ5月31日(日)から6月2日(火)まで修学旅行ですね。2年生の廊下を通ると、「ざわわ ざわわ〜♪」と歌っている子がいたり、平和を願いながら折り鶴を折ったりしている姿が見られました。学校での学びも大切ですが、実際に現地に出向いて聴く、一つ一つの言葉には、かないません。新たな学びと仲間との友情を深められるようにしてください。



5月も那賀川中生の「すごい！」ところを見ることができました。それは、毎朝のあいさつ運動です。みなさんのおかげで先生方も気持ちのよい朝を迎えることができます。「本当にありがとう」  
6月もみなさんの笑顔と一生懸命に頑張る姿を見られることを期待しています。

## ◇ 1年生の人権学習

1年生では、遠足に向けて人権学習に取り組んでいます。実際に、現地に出向いて教科書無償運動や紫雲丸遭難事故について学びます。その事前学習として、部落差別(同和問題)とは、どのような問題なのかを、学んだり、考えたりする機会をもうけました。一人一人が正しく知って、部落差別(同和問題)を許さない思いをもち、自分に何ができるかを考えていきましょう。

### ◎ 部落差別(同和問題)とは？

特定の地域出身であることや、そこに住んでいることを理由に、結婚や就職などで差別を受ける日本固有の人権問題。部落差別(同和問題)とは、本人には何の責任もないことで不平等・不利益を強いられ、自由と平等が侵害されるという、まさに不合理な人権問題。

誰しも生まれてくる場所を選ぶことができない。  
ちがいのないものにちがいをつけて差別する許せない人権問題。

**あってはならない差別**

今日の授業で、「紫雲丸遭難事故」が高知県であったことを初めて知りました。そして、差別は一人一人の行動で起こるとわかり、私はこれから少しでも人が傷つくことや差別的なことを言うのをやめようと思いました。(1年 吉成 茉瑚さん)

私は、部落差別を学習して、「紫雲丸遭難事故」を初めて知りました。その事故が起こった原因を被差別地域の人たちのせいにしていないのが許せないと思いました。これからは、全員の人の権利を尊重できる人になりたいです。(1年 白濱 奏さん)

今日の授業を受けて、僕は部落差別の厳しさや正しい知識をきちんと身に付けることの大切さを感じました。これからは、自分が正しいと思っていることでも疑い、無意識な差別を絶対しないようにしようと思いました。(1年 湯浅 晴真さん)

私は、昔から部落差別があると知って驚きました。そして、部落差別を自分がしていると気付かなくて、している人がいると思いました。だから私は、相手が傷付かないようなことを意識していくとなくせると思いました。(1年 小泉 さくらさん)

少しずつでいいから部落差別(同和問題)をなくしていきたいです。差別は、絶対にあってはならないものだと思います。逆に考えると、差別をしている人は、人を不幸にしているのだと思いました。人権学習をもっと真剣に取り組みたいです。これから、どんな人にも平等に接することができるようになりたいです。(1年 岩浅 詩さん)

私は、差別がどれだけ人を苦しめるか、わかってはいたはずだったけど、この勉強をして差別は、とても身近なことから生まれるのだと思いました。それは、本当のことを差別にすりかえ、それを広めてデマができてしまう。そんなことがないように、自分も日ごろから言葉づかいには気を付けて、相手を傷付けないようにしていきたいです。(1年 高橋 明里さん)

紫雲丸遭難事故があったことを今日の授業で初めて知りました。その事故で、たくさんのお子さんが亡くなったのは被差別地域の子がいたからと言って、事故の原因とまったく関係のない情報を流すのは許せないと思いました。私も間違った情報を信じたりせず、これからの人権学習で様々なことを学びたいです。(1年 多川 華音さん)



## ◇ 3年生の人権学習

3年生では、5月7日(木)に人権かるた取りを行いました。社会に見られる様々な人権課題について知り、仲間と意見交換をしながら、その課題解決に向けて自分にできることは何かを考えることができました。義務教育最後となる3年生のみなさんには、これからも人権学習を大切にしてほしいです。人権学習は、一人一人が幸せになるための学習であることを忘れないでください。

